

公益財団法人愛知県文化振興事業団

令和 3 年度事業計画

I 令和3年度事業方針

公益財団法人愛知県文化振興事業団は、平成4年4月の設立以来、設立目的である個性豊かな地域文化の振興と世界に開かれた魅力ある愛知づくりに寄与するため、各種の文化事業を実施してきました。また、平成26年度からは、愛知芸術文化センター（以下「芸文センター」という。）の指定管理者として、芸文センター全体の施設管理や、愛知県芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）の運営等に携わってきました。

令和2年度は、これまで経験したことのないコロナ禍にあって、芸術文化活動は多大な影響を受けることとなり、芸文センターの管理運営や自主事業の実施も、大変難しい状況の中で工夫を重ねながらの事業展開となりました。

令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の状況がなお不透明ではありますが、愛知県と密に連携をとりながら、新しい生活様式に十分配慮した上で、常にお客様・ご利用者様の目線に立ち、安全かつ快適な環境づくりとサービスの一層の向上に努め、県民の皆様安心して芸術文化を楽しんでいただけるよう努めてまいります。

自主事業の展開にあたっては、令和2年4月よりダンサー・振付家・演出家として国際的に活躍し、国内外からの高い評価を得ている勅使川原三郎氏を芸術監督としてお迎えしており、劇場主催事業等の質の向上や世界に向けた情報発信に努めてまいります。

具体的には、「愛知県芸術劇場第2次中長期計画」及び文化庁「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」に採択された「劇場による地域文化向上プロジェクト」に基づき、ホールの特性を活かし、創造性・発信性に満ちた多彩な舞台芸術公演を行うとともに、舞台芸術を担う人材の養成や、「劇場と子ども7万人プロジェクト」として次代を担う子どもたちに劇場の楽しさに触れてもらう普及啓発などに取り組みます。また、市町村劇場との連携による「県内ツアー公演」や、地域の商業施設・観光施設と連携する「久屋ぐるっとアート」などを展開して地域文化の振興を図るほか、障がいのある方や在住外国人など劇場に来づらい方向けのワークショップ等を開催するなど、社会課題の解決に向けた取組みも実施いたします。

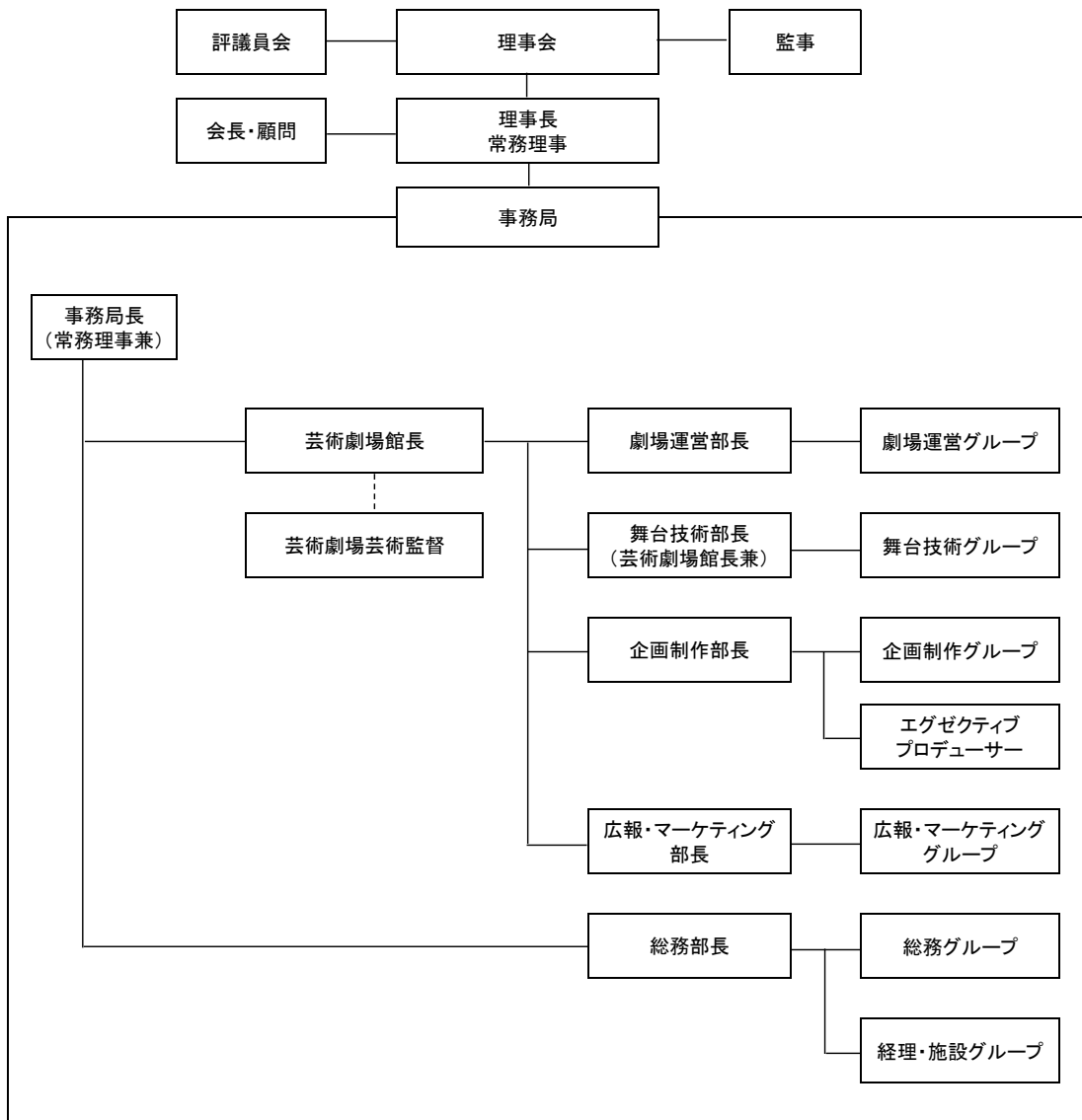
また、当事業団が実施する各自主事業につきましては、地元企業様をはじめ、様々な団体・個人からの御協力をいただいているところですが、新たに賛助会員制度の募集を行い、文化振興を通じての地元企業様等との関係強化を推進してまいります。

なお、職員の円熟・成長に応えつつ、さらなるモチベーションアップを図ることを目的として、令和3年4月より当事業団の組織体制を見直すこととしております。主な改正点としましては、理事長兼芸術劇場館長の兼務を解消するとともに、現行の劇場運営部、企画制作部、総務部の3部制を改め、舞台技術部、広報・マーケティング部の2部を加えた5部制とするほか、企画制作部長の下にエグゼクティブプロデューサーを設けるものです。

新しい組織体制のもとで、今後ともより一層文化振興に尽力してまいります。

●組織体制

(1) 令和3年度組織体制



(2) 職員数

常勤役員	2名
職員	34名
嘱託員	10名
計	46名

Ⅱ 公益目的事業

芸術文化の振興を図り、心豊かな県民生活及び活力ある地域社会の実現に寄与する場と機会を提供する事業として、愛知県芸術劇場の管理運営や、舞台芸術公演・人材養成・普及啓発活動を展開します。また、芸文センター全体の広報や劇場のマーケティング活動、催事室（アートスペース）・アートプラザの管理運営及び愛知県美術館を含む芸文センター全体の施設管理を行います。

1 愛知県芸術劇場の管理運営

愛知県芸術劇場各ホール、各リハーサル室の利用許可や利用打ち合わせ、技術面・安全面・運営面でのサポートなど、公演当日まできめ細やかなサービスを行い、県民の皆様が多彩で質の高い舞台芸術公演を鑑賞する場や創造活動をする場を提供します。

また、その運営にあたっては、観客及び劇場利用者の方々へのホスピタリティ向上に努めます。

感染症対策についても、主催者様からの相談に丁寧に応じ、事前に綿密な打合せを行うことにより、安全に実施していただけるよう努めます。

<愛知県芸術劇場>

大ホール（2,480席）

コンサートホール（1,800席）

小ホール（330席（最大））

大リハーサル室

中リハーサル室

2 自主事業の企画制作

全国16館の文化庁「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」に採択された「劇場による地域文化向上プロジェクト」に基づき、多彩で質の高い舞台芸術公演を県民に提供します。令和2年度に引き続き、夏季や秋季に事業を集中的に開催する「ファミリー・プログラム」「愛知芸文フェス」及び小ホールにおいて先駆的・実験的な作品を通年で上演する「ミニセレ」を柱に自主事業を実施し、愛知県の芸術文化の振興を図っていきます。

また、舞台芸術に関わる人材の養成や舞台芸術への関心を高めるための普及啓発にも引き続き力を入れ、芸術文化のすそ野の拡大を図ります。

なお、各事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期するとともに、オンラインによる映像配信などを積極的に活用し、新しい生活様式に十分配慮してまいります。

1 公演事業

各ホールにおいて夏季及び秋季にそれぞれ集中開催する「ファミリー・プログラム」「愛知芸文フェス」と、小ホールにおいて開催する「ミニセレ」を柱にラインナップを構成します。音楽、舞踊、演劇を軸に、領域にとらわれないボーダレスな作品にも取り組んでいきます。



(1)ファミリー・プログラム

夏休みに開催する、家族のためのフェスティバルです。舞台芸術の持つ様々な魅力を、子どもから大人まで世代を越えて楽しめるプログラムを実施し、劇場全体を楽しくにぎやかな場所にします。

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
芸術監督勅使川原三郎演出 ダンス『風の又三郎』 構成・演出・振付：勅使川原三郎 振付助手：佐東利穂子 出演：オーディションダンサー	7月24日(土) 25日(日) (2公演)	大ホール
	東海圏のダンサー養成を目的とした公演です。勅使川原三郎芸術監督が構成・演出・振付を務め、地元のバレエ団やフリーで活動するバレエダンサーが出演します。	
『えんどうまめとおひめさま』 愛知県芸術劇場公演＋愛知県内ツアー 製作・出演：ディブウィク・ダンスカンパニー (各市町村劇場と共催)	7月27日(火) 28日(水) (当劇場6公演) 7月30日(金) ～8月18日(水) (県内ツアー7カ所)	小ホール、 県内劇場
	アンデルセン童話『えんどう豆の上のおひめさま』を下敷きにしたダンス・演劇を横断するパフォーマンス公演です。昨年度新型コロナウイルス感染症によりやむなく中止した公演で、世界で活躍するノルウェーのディブウィク・ダンスカンパニーが当劇場含めて県内8か所で上演します。	
げきじょうたんけんツアー	7月30日(金) (4回)	コンサートホール
	小学校低学年を対象にして、劇場運営スタッフ扮する探検隊と一緒にコンサートホールの裏側をめぐるツアーを行います。普段は見ることができない劇場の裏側を見学できる体験学習です。	
日生劇場ファミリーフェスティバル 2021 物語付きクラシックコンサート 『アラジンと魔法の歌』 指揮：岩村力 出演：又吉秀樹、岡田誠 ほか 管弦楽：愛知室内オーケストラ (ニッセイ文化振興財団と共催)	8月14日(土) (1公演)	大ホール
	日生劇場が制作する、毎年大人気のクラシック音楽コンサートシリーズです。昨年度は新型コロナウイルス感染症によりやむなく中止いたしましたが、個性豊かなキャラクターたちと一緒に、フルオーケストラの演奏やユニークなお芝居を家族全員でお楽しみいただけます。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
チェコ・アルファ劇場『快傑ゾロ』 演出：トマーシュ・ドヴォジャーク (特定非営利活動法人愛知人形劇センター、 一般財団法人ちりゅう芸術創造協会と共催(予定))	①8月4日(水) ②8月24日(火) 25日(水) (回数未定)	①パティオ池鯉鮒 ②小ホール
	チェコの伝統的なマリオネット 40 体以上が繰り広げる生演奏付きの人形劇です。昨年度新型コロナウイルス感染症によりやむなく中止した公演で、当劇場小ホールのほか、パティオ池鯉鮒で上演します。	
THE オルガン NIGHT&DAY 2021 出演：米山麻美 ほか	8月25日(水) 26日(木) (3公演)	コンサートホール
	「短めのプログラム」「出かけやすい時間」「ワンコイン」と“手軽さ”を追求したパイプオルガンコンサートです。終演後、大人向けのNIGHTではオルガンの耳より講座を、小学生を含めた家族向けのDAYでは映像を使ったオルガン見学会を開催します。	
『よちよちの部屋』 製作・出演：ディブウィク・ダンスカンパニー	8月（回数未定）	未定
	昨年度新型コロナウイルス感染症によりやむなく中止した、ノルウェーのディブウィク・ダンスカンパニーによる乳幼児向けのパフォーマンスを上演します。	
赤ちゃんと踊ろう（ママ編・パパ編） ファシリテーター：プロジェクト大山	8月（回数未定）	未定
	赤ちゃんと一緒に踊りながら、パパ・ママ同士も交流もできるダンス・ワークショップを実施します。	
キッズ・ダンスワークショップ(仮称) ファシリテーター：プロジェクト大山	8月（1回）	未定
	小学校高学年の児童を対象としたダンス・ワークショップを実施します。	
キッズ・音楽ワークショップ(仮称) ファシリテーター：八木美知依	8月（1回）	未定
	小学校高学年の児童を対象とした音楽ワークショップを実施します。	
10 事業		

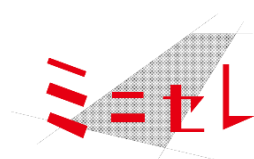


(2) 愛知芸文フェス

愛知芸術文化センターが開館した 10 月 30 日前後を祝祭期間とし、質の高い舞台芸術公演を集中的に上演します。

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
トライアド・ダンス・プロジェクト 安藤洋子×酒井はな×中村恩恵 『ダンスの系譜学』 （ダンス・ベース・ヨコハマと共催）	10月1日(金) ~3日(日) (3公演)	小ホール
	日本のダンス界を牽引する3人の女性ダンス・アーティストによる特別公演を行います。昨年度新型コロナウイルス感染症によりやむなく中止した公演で、安藤洋子、酒井はな、中村恩恵が出演する旧作から新作までのプログラムを通してダンスの歴史を紐解きます。	
向井山朋子『KUMANO』(仮) 出演：向井山朋子	10月22日(金) 23日(土) (回数未定)	小ホール
	オランダ・アムステルダムを拠点に活動するピアニスト・美術家の向井山朋子によるコンサートです。和歌山県熊野などで撮影した映像を360度投影し、幻想的な空間でピアノを演奏します。	
NISSAY OPERA 2021 プッチーニ作曲 オペラ『ラ・ボエーム』 指揮：園田隆一郎 演出：伊香修吾 管弦楽：名古屋フィルハーモニー交響楽団 （ニッセイ文化振興財団と共催）	10月30日(土) (1公演)	大ホール
	19世紀のパリを舞台に繰り広げる音楽と儂い恋の物語が特徴的なプッチーニ（イタリア）の人気オペラです。近年、オペラ、シンフォニーの両分野で国際的に活躍する園田隆一郎が指揮者を務めます。	
栄北まちなか展開連携事業 『久屋ぐるっとアート2021』	11月上旬	オアシス21ほか
	オアシス21や名古屋テレビ塔など、栄北地域の約20の文化施設や商業施設等と連携し、アートを気軽に楽しめるミニフェスティバルを開催します。音楽、ダンス、美術、映画、グルメ等を気軽に“ぐるっと”楽しめます。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
第 19 回 AAF 戯曲賞受賞記念公演 『ねー』 作：小野晃太郎 演出：今井朋彦	11月21日(日) ～23日(火・祝) (回数未定)	小ホール
	第 19 回 AAF 戯曲賞受賞作品を上演します。 ひたすら悪化していく状況下で生きる若い人々と、暗躍する既得権益の集団を描いたファンタジーを舞台化します。	
愛知県立芸術大学管弦楽団 第 32 回定期演奏会 指揮：飯守泰次郎 管弦楽：愛知県立芸術大学管弦楽団 (愛知県立芸術大学と共催)	11月26日(金) (1公演)	コンサートホール
	東海地方唯一で全国的にも数少ない公立芸術大学のオーケストラによる定期演奏会を開催します。指揮は、東京シティ・フィル桂冠名誉指揮者を務め、2004年には紫綬褒章、15年には第56回毎日芸術賞などを受賞した飯守泰次郎です。	
NHK 交響楽団定期演奏会 (愛知県芸術劇場シリーズ) 指揮：ファビオ・ルイーゼ ヴァイオリン：フランチェスカ・デゴ 管弦楽：NHK 交響楽団 (NHK 名古屋放送局と共催 (予定))	11月28日(日) (1公演)	コンサートホール
	世界でトップレベルのオーケストラが行う定期演奏会です。指揮は、メトロポリタン・オペラやウィーン交響楽団で主席指揮者を務めた実績があり、2020年1月の定期公演で誰もが絶賛したファビオ・ルイーゼです。	
7 事業		



(3)ミニセレ —Mini Theater Selection—

現代音楽、コンテンポラリー・ダンス、演劇など、様々な領域の同時代の作品を上演します。小ホールの特徴を活かして先駆的・実験的な作品を上演することで、新しい芸術や新しい劇場ファン層をさらに広げます。

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
ヌトミック+細井美裕 『波のような人』～マルチチャンネルスピー カーと俳優のための演劇作品 演出・音楽：額田大志 テクニカルディレクター・音楽：細井美裕 原案：フランツ・カフカ『変身』	4月27日(火) 28日(水) (3公演)	小ホール
	俳優やダンサー、ミュージシャンなど異なるパフォーマーを起用しボーダレスな演出を得意とする額田大志率いる演劇カンパニーヌトミックが、音楽家の細井美裕を迎え、俳優やスピーカーを出演者にした不条理劇を上演します。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
八木美知依・箏の世界 21 絃箏・17 絃箏・エレクトロニクス・歌 ：八木美知依 コントラバス・チェロ：須川崇志	5月22日(土) (1公演)	小ホール
	愛知県出身で日本の伝統楽器「箏」を用いて国際的に躍進を続ける八木美知依が、ゲストの須川崇志（コントラバス・チェロ）も交え、伝統楽器の枠を超えたりサイタルを開催します。	
マレビトの会 『グッドモーニング』 作・演出：松田正隆	9月18日(土) 19日(日) (回数未定)	小ホール
	展覧会形式や街中、ソーシャルメディアなど、これまでに様々な演劇の可能性を模索している集団「マレビトの会」主催の松田正隆が、ドイツを訪れ見聞きした内容から書き上げた長編新作を上演します。	
【再掲】 トライアド・ダンス・プロジェクト 安藤洋子×酒井はな×中村恩恵 『ダンスの系譜学』 (ダンス・ベース・ヨコハマと共催)	10月1日(金) ～3日(日) (3公演)	小ホール
【再掲】 向井山朋子『KUMANO』（仮） 出演：向井山朋子	10月22日(金) 23日(土) (回数未定)	小ホール
【再掲】 第19回AAF 戯曲賞受賞記念公演 『ねー』 作：小野晃太郎 演出：今井朋彦	11月21日(日) ～23日(火・祝) (回数未定)	小ホール
DaBY コレクティブダンスプロジェクト ～愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama 演出・振付・ダンス：鈴木竜 (ダンス・ベース・ヨコハマと共催)	12月3日(金) 4日(土) (回数未定)	小ホール
	プロフェッショナルなダンス環境の整備やクリエイター育成に特化した事業を企画・運営する「Dance Base Yokohama」でアソシエイトコレオグラファーを務める鈴木竜が、若手クリエイターたちと創り上げる新作を上演します。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
オルガン・アワー ～音のシャワーで心リフレッシュ～ 出演：都築由理江 （愛知県芸術劇場オルガニスト）	6月18日（金） （2公演）	コンサートホール
	オルガン初級者の方にも聴きやすい約1時間のコンサートです。当劇場オルガニストの都築由理江が週末に名曲の数々を演奏し、少しずつ夏に向かって暑さを感じるこの時期にオルガンの音色で身も心もリフレッシュいただけます。	
イスラエル・ガルバン 『春の祭典』 ダンス：イスラエル・ガルバン ピアノ：シルヴィー・クルボアジェ、 コリー・スマイス	6月23日（水） 24日（木） （2公演）	コンサートホール
	2016年、18年の来日ツアーで話題を呼んだイスラエル・ガルバンの最新作です。フラメンコの革命児と称されるガルバンが2人のピアニストと共にストラヴィンスキーの音楽の根源に迫るダンスを上演します。	
勅使川原三郎新作ダンス公演 振付・演出・美術・照明・衣装・選曲： 勅使川原三郎 出演：勅使川原三郎、佐東利穂子 ほか	8月11日（水・祝） （1公演）	大ホール
	芸術監督によるプロデュース公演です。2020年度に小ホールで開催した芸術監督就任記念シリーズから、規模が大きいホールに舞台が移ります。	
ナタリア・オシポワ/メリル・タンカード 『Two Feet』 演出・振付：メリル・タンカード ダンス：ナタリア・オシポワ	9月10日（金） 11日（土） （2公演）	大ホール
	2019年3月のアデレード・フェスティバル（オーストラリア）で上演され、大きな反響を呼んだバレエの来日公演です。昨年度新型コロナウイルス感染症によりやむなく中止した公演で、ピナ・バウシュのヴッパダール舞踊団で活躍したタンカードが演出・振付を担当し、英国ロイヤルバレエ団プリンシパル、ナタリア・オシポワがソロで踊ります。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
クリスマスはオルガンだ！2021 出演：梅干野安未 ほか	12月21日(火) 22日(水) (2公演)	コンサートホール
	恒例のクリスマス・オルガンコンサート。毎年同時期に開催し、演奏者の手元・足元を大型スクリーンに投影する演出が好評です。日本各地のコンサートホールや教会をはじめ、フランスのノートルダム大聖堂等で演奏会を行なった実績のある梅干野安未が、クリスマスにちなんだ楽曲を演奏します。	
バッドシェバ舞踊団 新作公演 振付・演出：オハッド・ナハリン ダンス：バッドシェバ舞踊団	1月30日(日) (1公演)	大ホール
	イスラエルを代表するコンテンポラリー・ダンスカンパニーによる約4年ぶりの来日公演です。2018年までに同カンパニーにおいて芸術監督を務めたオハッド・ナハリンの新作を上演します。	
藤原歌劇団公演 ヴェルディ作曲 オペラ『イル・トロヴァトーレ』 指揮：山下一史 演出：粟國淳 出演：小林厚子、笛田博昭、須藤慎吾 ほか 管弦楽：セントラル愛知交響楽団 (公益財団法人日本オペラ振興会と共催)	2月5日(土) (1公演)	大ホール
	日本で最も歴史のあるオペラ団体、藤原歌劇団の愛知公演第5弾です。指揮はNHK交響楽団やヘルシンボリ交響楽団（スウェーデン）で指揮者を務めた山下一史、演出は日生劇場参与を務める粟國淳です。	
オルガン・スペシャルコンサート フランソワ・エスピナス オルガン：フランソワ・エスピナス	2月17日(木) (1公演)	コンサートホール
	国内最大級のオルガンの性能を最大限にまで活かした本格的なオルガンコンサートです。ヴェルサイユ宮殿王室礼拝堂首席オルガニストで、ヨーロッパの伝統を受け継ぐ名匠と謳われるフランソワ・エスピナスが、玄人も満足する演奏をお届けします。	
オルガン・レクチャーコンサート オルガン・解説：椎名雄一郎	3月25日(金) (1公演)	コンサートホール
	映像と解説を交えた、オルガンをより知りたい人向けのコンサートです。2019年のコンサートは子どもから大人まで多くの方から好評をいただきました。今回も、レクチャーコンサートの第一人者で、分かりやすい解説とその演奏の実力から全国的な人気を誇る椎名雄一郎が演奏・解説を務めます。	
10 事業		

2 人材養成事業

若手芸術家に活動・発表の場を提供するほか、地域の劇場や大学等と連携して、学生インターンシップからアーティスト養成まで様々なプログラムを実施し、舞台芸術を担う人材を養成します。

事業名	開催日	会場
	事業概要	
愛公文セミナー (愛知県公立文化施設協議会と共催)	5月20日(木) 7月8日(木) 10月14日(木) (3回)	アート スペースA
	ホール新任職員向けのセミナーを愛知県公立文化施設協議会と共催で開催します。	
第21回AAF戯曲賞募集・選考	募集開始：6月 最終審査会：1月(予定)	小ホール(予定)
	2000年から続く「上演を前提とした戯曲賞」です。大賞受賞作品は、次年度以降に当劇場のプロデュース公演として上演します。	
アーティスト人材養成事業	①合唱団養成プログラム 愛知県芸術劇場合唱団訓練	通年実施 コンサート ホールほか
	②オルガニスト養成プログラム (短期・長期)	アーティスト人材養成のための講座やワークショップを実施します。
	③振付家・ダンサー養成プログラム	
	④舞台芸術ワークショップファシリテーター養成プログラム	
舞台芸術人材養成ラボ	①舞台芸術インターンシップ	通年実施 大ホールほか
	②学生インターンシップ &舞台芸術お仕事ナビ	人材養成プログラムを系統立てて実施します。
	③劇場職員セミナー	
	④舞台芸術創造セミナー	
	⑤舞台芸術ワークショップコーディネーターセミナー	
11 事業		

3 普及啓発事業

次代を担う子どもたちを劇場に招待し、舞台芸術の魅力や劇場の楽しさに触れてもらう「劇場と子ども7万人プロジェクト」として、学校招待公演等を他市町村・劇場との連携で実施します。また、普及啓発事業を系統立てて実施し、劇場に来づらい方への取組み等も実施します。

事業名		開催日（公演数）	会場
		事業概要	
愛知県芸術劇場大ホール オープンハウス		5月8日(土)	大ホール
		小さなお子様から大人まで、より多くの方に劇場をより身近に感じていただくために、大ホールを無料開放します。普段は鑑賞する目的で訪れる劇場で、バックヤードツアー等のミニイベントを開催します。	
劇場と子ども7万人プロジェクト	愛知県芸術劇場舞台芸術鑑賞教室 2021 『小さな島とエヴァ』 制作・出演：テラッピン・パペットシアター 出演：川上珠来 ほか (各市ほかと共催)	時期未定	小ホール、 西尾市はじめ 県内3か所
	愛知県芸術劇場オペラ鑑賞教室 2021 ニッセイ名作シリーズ 2021 プッチーニ作曲 オペラ『ラ・ボエーム』 指揮：園田隆一郎 演出：伊香修吾 管弦楽：名古屋フィルハーモニー交響楽団 (ニッセイ文化振興財団と共催)	10月28日(木) (1公演)	大ホール
	イタリアの作曲家プッチーニの名作に県内の中学生を学校単位で招待します。オペラの生の舞台を鑑賞することで、芸術への理解が深まるとともに、心に深く残るような芸術体験となることを願っています。		
【高校生 ゲネプロ招待】 ①第19回AAF 戯曲賞受賞記念公演 『ねー』 ②藤原歌劇団公演 ヴェルディ作曲 オペラ『イル・トロヴァトーレ』		各公演日の前日など	小ホールほか
		舞台鑑賞の楽しみや創造することの面白さを知っていただくために、ゲネプロ（本番直前の最終リハーサル）に、高校生を無料で招待します。	
【乳幼児と保護者のためのプログラム】 ワークショップ「赤ちゃんと一緒にダンス！」 (仮称) (愛知県他と共催(予定))		時期未定	未定
		小さなお子様と一緒にダンスを楽しむ機会を市町村劇場等と連携して設けます。	
【入門者のためのプログラム】 愛知県図書館での講座、エンゲキカフェ、 GAGA ダンスワークショップ ほか (愛知県図書館他と共催(予定))		通年実施	愛知県図書館、 豊山町 ほか
		初めて劇場に来る方にも舞台芸術に楽しみを見出していただけの講座等を開催します。	
【より深く楽しみたいファンを増やすためのプログラム】 鑑賞&レビュー講座、オンライン連続講座(仮称) ほか		通年実施	オンラインほか
		舞台芸術について理解を深め、より楽しんでいただける講座等を開催します。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
【障がい者及び劇場に来づらい人のためのサポート】 聴覚障がいのある方への日本語字幕 ヒアリングループ設置 視覚障がいのある方へのプログラムの事前PDF 配布 ほか	各公演日	各ホールほか
	多くのお客様に舞台芸術を楽しんでいただけるよう、一部の公演で、障がいのある方を対象に観劇・鑑賞のためのサポートを行います。	
【在住外国人のためのプログラム】 ワークショップ「赤ちゃんと一緒にダンス！」 (仮称) 演劇によるタウンミーティング(仮称) (愛知県他と共催(予定))	時期未定	未定
	日本語を母語としない人にも舞台芸術を楽しみ、舞台芸術の力を通じて交流を深めていただくために、赤ちゃんと一緒に楽しめるワークショップ等を開催します。	
9 事業		

3 愛知芸術文化センターの管理運営等

指定管理者として、芸文センター全体の広報や劇場のマーケティング活動、アートプラザやアトスペースの運営、愛知県美術館を含む芸文センター全体の施設管理を行うことにより、県民の皆様が楽しく身近に芸術文化に触れ、また発信できる場と機会を提供します。

また、利用者の安全確保を第一に考えた防火・防災体制の強化や新型コロナウイルス感染症拡大防止対策など、安心して利用していただける施設環境の整備にも努めます。

1 広報・マーケティング

(1) 広報

芸文センターが実施する芸術文化事業を中心に、情報誌「AAC」やウェブサイト、SNS などの各種媒体を通じて、芸術文化に関連する情報を提供します。

○ 情報誌「AAC」の発行

芸文センターが実施する芸術文化事業の紹介や地域の芸術文化に関する情報等を掲載した情報誌を発行し、芸文センターの認知度・理解度の向上を図ります。

配布先：県内外の劇場・ホール、美術館、図書館、その他公共施設、民間商業施設等
年4回発行（ウェブ版を含む）

○ 情報発信

ウェブサイトをはじめとして、Facebook・Twitter などの SNS、YouTube といった各種の媒体や仕組みの特性を生かし、劇場主催公演をはじめとした各イベントの情報を分かりやすくタイムリーに提供します。また、中部芸術文化記者クラブの事務局を担い、県内外の美術館等の情報発信を支援します。

(2) 販売促進

愛知県芸術劇場主催公演等について、オンラインチケットシステムや充実した特典を備えた会員制度の「愛知県芸術劇場メンバーズ」により、利便性の向上や収益の増加を図ります。

(3) 調査・研究

劇場及びアートスペース利用者を対象とした満足度調査を実施し、ハード・ソフト両面における劇場等のニーズや課題を把握し、施設利用サービスのさらなる改善に努めます。また、自主事業の際には来場者アンケートを実施し、事業に対する評価や来場者属性を把握・分析し、自主事業の企画制作に反映させていきます。

(4) 賛助会員制度

文化振興を通じて、地域の企業等との関係を強化するとともに圏域の文化芸術のさらなる創造・発信につなげるための制度です。愛知県芸術劇場が主催する事業について支援をいただくもので、「芸術文化事業全般への支援」、「プログラム別支援」、「公演別支援」、「芸術監督公演支援」の4メニューから賛助する内容を決めることができます。このうち、「プログラム別支援」は、「ファミリー・プログラム」、「普及啓発事業（7万人プロジェクト、その他の普及啓発）」、「人材養成事業（アーティスト人材養成、スタッフ人材養成、アートマネジメント人材養成）」と、より具体的な賛助プログラムを選ぶことができます。

2 アートプラザの運営

芸文センター地下2階のアートプラザにおいて、県内外の公演や展覧会等の情報を収集し、来館者に提供します。年齢に関わらず気軽に立ち寄っていただけるよう、丁寧なコミュニケーションに努めます。

3 アートスペースの運営

芸文センター12階及び地下2階のアートスペースについて、利用許可及び利用当日のサポート等を行います。様々な芸術文化活動の表現・交流の場として快適に利用していただけるよう努めます。

4 施設管理・防災

施設の保守・維持管理については、事故の未然防止が最大の安全対策であるという考え方のもと、職員や委託業者による日常点検や各種設備の保守点検を計画的に行います。芸文センター全体の警備や清掃、空調管理など、安全かつ快適な場所を提供するために必要な業務についても、委託業者と連携を密にしながら適切に実施し、利用者からのご要望にも丁寧に対応します。

防火・防災体制については、消防法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、引き続き防災プロジェクトチームによる組織横断的な活動を行うなど、職員の災害対応に係る意識、能力の継続的な向上を図ります。

新型コロナウイルス感染症拡大防止については、アルコール消毒剤の設置やマスク着用徹底の呼びかけ、清掃や換気の強化、サーモグラフィーカメラによる体温測定、お客様間のソーシャルディスタンスの確保等、感染症対策に努めてまいります。

5 他団体との連携・交流

(1) 海外芸術交流事業

「AAPPAC」（アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟）に引き続き加盟し、海外の劇場関係者との情報交換や人的交流、及び芸文センターの認知度向上を図ります。

(2) 圏域の公立文化施設とのつながり

全国公立文化施設協会東海北陸支部及び愛知県公立文化施設協議会の事務局となり、地域の公立文化施設職員の知識・技術向上や情報共有を図るため、実務研修等を開催します。こうし

た人材養成の取り組みを足がかりに、愛知県内の劇場の強いネットワークを活かし、連携公演の実施や人材養成セミナーの開催など、様々な形での劇場間の連携を深めていきます。

(3) 職員の派遣

市町村や大学、他団体等に専門性の高い職員を派遣し、文化振興プランの策定や劇場運営等のアドバイスを実施します。

Ⅲ 収益事業

公益事業に資するため、複合施設の特性を活かした収益事業を行います。

1 ミュージアムショップ（芸文センター10階）

美術館企画展やコレクション展の内容に合わせ、図録・絵はがき・オリジナルグッズ等の販売を行います。

2 アートショップ（芸文センター地下2階）

芸術関連の書籍やグッズなど文化芸術に関連する商品の販売を行います。

3 プレイガイド

芸文センター地下2階アートプラザ内に設置されているプレイガイドにおいて、愛知県芸術劇場の主催公演をはじめ、近隣の劇場・音楽堂等で行われる各種公演・美術展などのチケット販売を行います。